

令和8年3月吉日

## 令和8年度生成AIパイロット校 公募の開始について

(生成AIの活用を通じた教育課題の解決・教育DXの加速事業)

株式会社内田洋行 教育総合研究所  
生成AIパイロット校事業事務局

令和8年度の生成AIパイロット校について、以下の通り公募を開始しました。リンクより、様式等ダウンロードの上、是非積極的にご応募ください。

### (1) 事業名

生成AIの活用を通じた教育課題の解決・教育DXの加速  
(生成AIパイロット校の指定を通じた事例創出事業)

### (2) 事業趣旨

本事業は、生成AIが急速に社会に普及する中、「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」を踏まえた学校現場における利活用の実践事例を創出し、その成果・課題の検証をするとともに、好事例の普及・展開を図ることを目的とした事業である。併せて、次期学習指導要領の改訂を見据え、AIを含む情報活用能力の育成に向けた教材実証を行う学校を指定し、情報活用能力の育成に向けた事例や教材の活用事例等の実践事例の創出を行う。

### (3) 公募期間 本日～令和8年3月18日(水) 10時

### (4) その他

公募要領・提出様式等は以下よりダウンロードください。

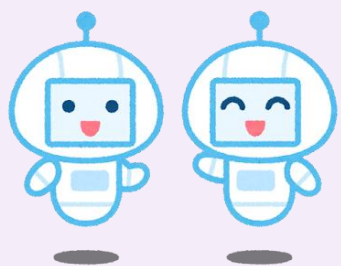
[https://www2.cstorage.jp/public/jM5xwGIhI0\\_LKTzbpMiGEwlcxZ0YT79vIbqpUHBJAu86](https://www2.cstorage.jp/public/jM5xwGIhI0_LKTzbpMiGEwlcxZ0YT79vIbqpUHBJAu86)

※ダウンロードできない場合は、以下問い合わせ先までご連絡ください。

#### 【問い合わせ先】

株式会社内田洋行 教育総合研究所 生成AIパイロット事業事務局  
コールセンター：0570-013-853 (土日祝日を除く平日 9:00～17:00)  
E-mail：[AIpilot2026\\_jimukyoku@uchida.co.jp](mailto:AIpilot2026_jimukyoku@uchida.co.jp)  
※当該者のみが有利となるような質問等には回答できません

以上



文部科学省 令和8年度

# 生成AIパイロット校に参加して “最前線”を走る仲間になりませんか？



## 第一線の講師から 直接学べる

キックオフ会議、夏季公開学習会など  
様々なイベントへの参加を通して、第  
一線で活躍する豪華な講師陣の研  
修を直接受けることができます。

### 参加者の声

自治体単独では呼べないような  
豪華な講師陣に感動

※参加旅費は事業に計上いただけます

令和7年度 生成AIの利用に関する 夏季公開学習会	
開催日 2025年7月29日(火) 13:00~16:30 〇 開催形式 / 対象およびオンライン	会場 日経ホール (日経ビル3階) <a href="https://www.nikkei-hall.com/access/">https://www.nikkei-hall.com/access/</a> 会場費 / 対応校費
<p>座談会やパイロット校による実践事例を踏まえたパネルディスカッションを通して、現場の工夫と課題、可能性を考える公開学習会を開催します。</p>	
<p>TIME SCHEDULE</p>	
13:10 13:40	行政説明 文部科学省高等学校中等教育課 課長 寺島 史朗 氏
13:40 14:40	ファシリテーター 佐藤 和紀 氏 慶応大学 教育学部 准教授
	パネリスト つばき町立とどろき学園高等学校 校長 中村 めぐみ 氏
	福岡県立立石中学校 校長 梅野 哲 氏
	滋賀県立高野中学校 校長 副校長 東木田 理恵 氏
休憩 (20分)	
15:00 15:40	基調講演 東京大学大学院工学系研究科 教授 松尾 豊 氏
15:40 16:20	調評・クロージング 東京大学 教育学部 教授 高橋 純 氏
<p>参加費 無料 (事前申込要) <a href="https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/event.html">https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/event.html</a></p> <p>学校現場における生成AIの利用に関する調査研究事業事務局 Email: <a href="mailto:ai_info@mifis.co.jp">ai_info@mifis.co.jp</a></p>	

【参考】R7生成AI夏季イベント登壇者▲



## 全国の学校と「横のつながり」ができる



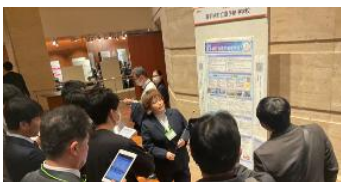
座談会や各種イベント内での情報  
交換会等を通して全国の同じ課題  
に取り組むパイロット校同士のつな  
がりができます。実践や悩みを共有  
しながら進められます。

### 参加者の声

事業を通してつながった学校に、  
実際に視察に行きました！



## 自校の実践が全国にとどく



日々の取り組みや工夫を、事業を通して  
発信。学校の挑戦が、次のモデルになり  
ます。



## 生成AIの“最新情報”をキャッチアップ



事業内メーリングリストや情報共有サイト  
を通じて、本事業で収集した教育現場での活  
用事例や制度・議論、技術動向等の最新  
情報も共有します。

令和8年度

# 生成AIパイロット校の考え方

複数区分の申請OK※

## A区分：教育利用

10自治体予定 / 1指定箇所300万円

### 学習場面における生成AIの利活用事例創出

情報活用能力育成の一環として、生成AIを児童生徒の学習場面で活用する取り組みについて以下の場면을意識して実践を創出

- 生成AI自体を学ぶ場面
- 使い方を学ぶ場面
- 各教科の学びにおいて積極的に用いる場面

令和6年度パイロット校 教育利用の事例▼  
<https://leadingdxschool.mext.go.jp/achieve/ai/?s1=261&s2=&s3=&s4=&s5=&s6=>

## B区分：校務利用

100自治体予定 / 1指定箇所100万円

### 校務における生成AIの利活用事例創出

教職員の働き方改革の一環として、生成AIを日々の公務に活用し、業務改善を行う取り組み実践を創出

- 児童生徒の指導に関わる業務の支援
- 学校運営に関わる業務の支援
- 外部対応への支援 など

令和6年度パイロット校 校務利用の事例▼  
<https://leadingdxschool.mext.go.jp/achieve/ai/>

## C区分：教材実証

50自治体予定 / 1指定箇所100万円

### AIを含む情報活用能力の育成に向けた教材実証

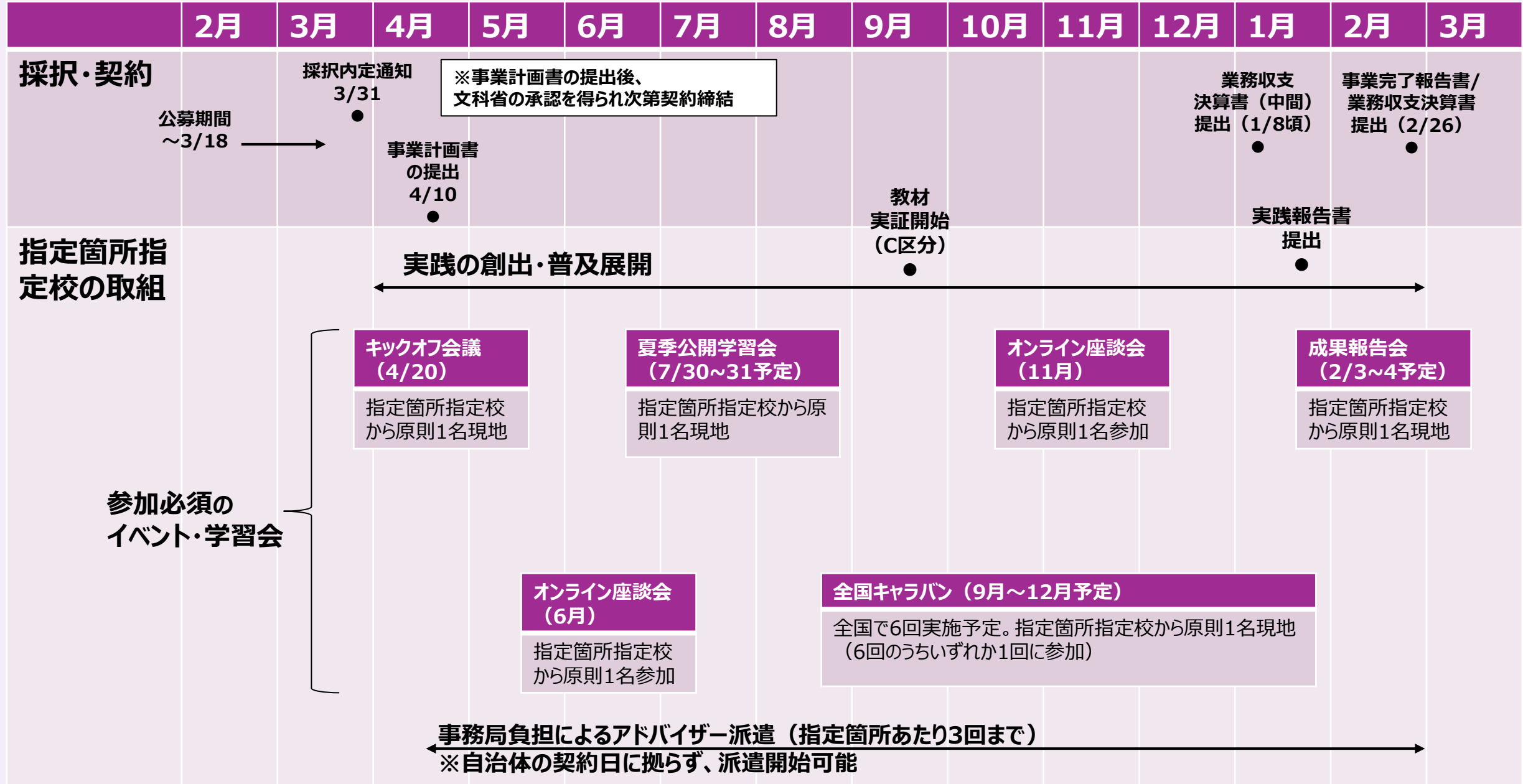
● 指導要領改訂を見据え、別事業において開発するAIを含む情報活用能力育成に向けた教材の活用実証

● 各教科などにおける深い学び・情報活用能力育成の実践事例を創出（リーディングDXスクール事業の後継）

令和6年度パイロット校 LDX校の事例▼  
<https://leadingdxschool.mext.go.jp/achieve/jirei/>

※1区分あたりの申請は1つまでです

# 事業スケジュール（イメージ）



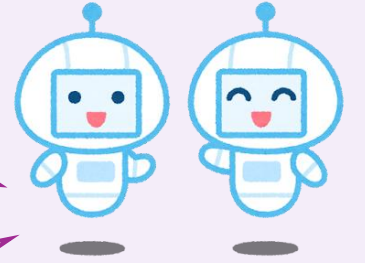
# よくある質問① 指定校・協力校・認定校の違い



指定校と認定校は  
何が違うの？

指定箇所 = 教育委員会が主体となって申請するのが指定校。指定校の取り組みを普及させるために設置するのが協力校だよ。複数校での申請が必要だよ。

認定校は、教育委員会の承認を受ければ学校長が申請できるよ。契約が発生しないから、経費の措置はないよ。



← 申請主体 →

認定校

- ・指定箇所（教育委員会）が申請（教育委員会単位で指定）
- ・複数の指定校を指定する必要
- ・契約・経費措置あり（契約主体は教育委員会）
- ・指定箇所あたり3回まで事務局負担でアドバイザー派遣が可能
- ・事務局主催イベント等への参加、報告書の提出が必須（協力校を除く）

- ・学校長が申請（学校単位で指定）
- ・契約・経費措置なし
- ・事務局主催イベントに参加可能（一般参加者より優先）

⇒詳細の違いは次ページを参照

	A区分（教育利用）			B区分（校務利用）			C区分（教材実証）		
	指定箇所		認定校	指定箇所		認定校	指定箇所		認定校
	指定校	協力校		指定校	協力校		指定校	協力校	
実施内容	・学習場面における生成AIの利活用事例創出	・指定校の実践創出や域内への事例普及への協力	・指定校の実践を参考に学校として計画した内容を実施	・校務における生成AIの利活用事例創出	・指定校の実践創出や域内への事例普及への協力	・指定校の実践を参考に学校として計画した内容を実施	・AIを含む情報活用能力の育成に向けた教材実証 ・各教科におけるデジタル学習基盤を活用した深い学びの実践創出	・指定校の実践創出や域内への事例普及への協力	・指定校の実践を参考に学校として計画した内容を実施
対象	・公立の小学校、中学校（義務教育学校含む）、中等教育学校、特別支援学校、高等学校	・指定校を所管する教育委員会が所管する学校（校種は指定校に準ずる）	・公立の小学校、中学校（義務教育学校含む）、中等教育学校、特別支援学校、高等学校	・公立の小学校、中学校（義務教育学校含む）、中等教育学校、特別支援学校、高等学校	・指定校を所管する教育委員会が所管する学校（校種は指定校に準ずる）	・公立の小学校、中学校（義務教育学校含む）、中等教育学校、特別支援学校、高等学校	・公立の小学校、中学校（義務教育学校含む）、中等教育学校、特別支援学校	・指定校を所管する教育委員会が所管する学校（校種は指定校に準ずる）	・公立の小学校、中学校（義務教育学校含む）、中等教育学校、特別支援学校
応募条件	・原則複数校 ・学術的知見を有する研究者や優れた実践家等からの伴走支援を受けること	・指定校を所管する教育委員会が所管する学校（校種は指定校に準ずる）	・指定校を所管しない教育委員会が所管する学校を対象校とし、学校長の申請により応募が可能※教育委員会の要承認	・原則複数校	・指定校を所管する教育委員会が所管する学校（校種は指定校に準ずる）	・指定校を所管しない教育委員会が所管する学校を対象校とし、学校長の申請により応募が可能※教育委員会の要承認	・原則複数校 <u>（同一中学校区内での小・中学校の指定を優先）</u>	・指定校を所管する教育委員会が所管する学校（校種は指定校に準ずる）	・指定校を所管しない教育委員会が所管する学校を対象校とし、学校長の申請により応募が可能※教育委員会の要承認
審査	・書類審査	・なし	・書類審査	・書類審査	・なし	・書類審査	・書類審査	・なし	・書類審査
指定数（予定）	・10箇所	（指定箇所の指定に準じる）	・協議の上決定	・100箇所	（指定箇所の指定に準じる）	・協議の上決定	・50箇所	（指定箇所の指定に準じる）	・協議の上決定
経費	・あり（上限額300万円/箇所）	・指定箇所の経費を使用可能	・なし	・あり（上限額100万円/箇所）	・指定箇所の経費を使用可能	・なし	・あり（上限額100万円/箇所）	・指定箇所の経費を使用可能	・なし
キックオフ・夏季公開学習会・成果報告会への参加	・原則必須	・参加可能（一般参加よりも優先的に案内）	・参加可能（一般参加よりも優先的に案内）	・原則必須	・参加可能（一般参加よりも優先的に案内）	・参加可能（一般参加よりも優先的に案内）	・原則必須	・参加可能（一般参加よりも優先的に案内）	・参加可能（一般参加よりも優先的に案内）
報告書提出義務	・あり	・なし	・なし	・あり	・なし	・なし	・あり	・なし	・なし
学校DX戦略アドバイザー	・指定箇所あたり3回まで派遣可能（事務局が経費負担）	・指定箇所が有する派遣回数を使用可能	・なし	・指定箇所あたり3回まで派遣可能（事務局が経費負担）	・指定箇所が有する派遣回数を使用可能	・なし	・指定箇所あたり3回まで派遣可能（事務局が経費負担）	・指定箇所が有する派遣回数を使用可能	・なし
デジタルバッジの配布	・あり	・あり	・あり	・あり	・あり	・あり	・あり	・あり	・あり
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度事業で指定を受けた指定箇所・指定校等も応募可能</li> <li>・指定箇所として不採択になった場合も、希望に応じて認定校として審査・採択を受けることが可能</li> <li>・申請に当たっては、計画において利用を予定する生成AIサービスの利用及びその運用方法が、自治体又は教育委員会が定める教育情報セキュリティポリシーに合致していることを確認すること。</li> <li>・生成AIライセンスにかかる費用はA区分のみ計上可能</li> </ul>								

# よくある質問② 経費の使い道



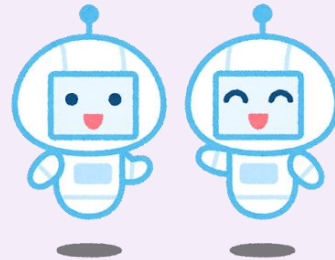
どんなことに経費を使ったら良いの？

審査対象はあくまで計画の“内容”だから、上限額全て使いきらなくても、審査結果に影響はないよ。

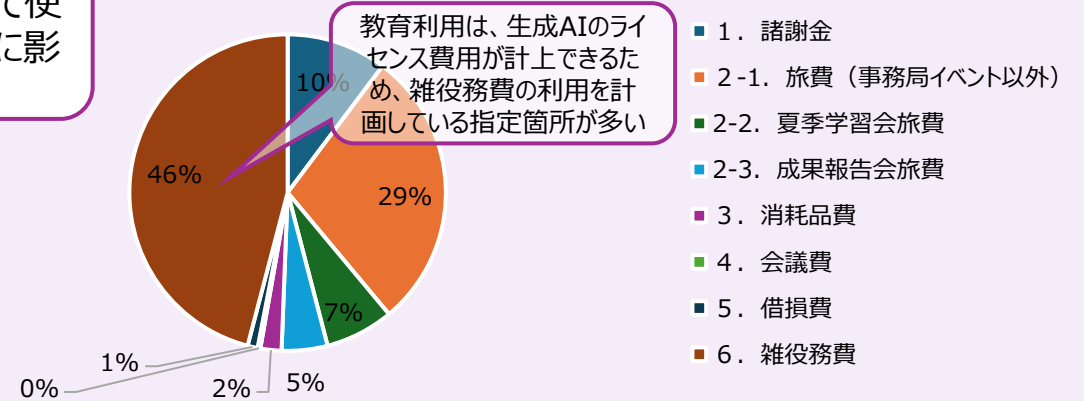
実践創出・普及展開のために必要な視察旅費、講師への謝金などへの活用を推奨しています！  
環境整備のための事業ではないことに注意！

【NG例】

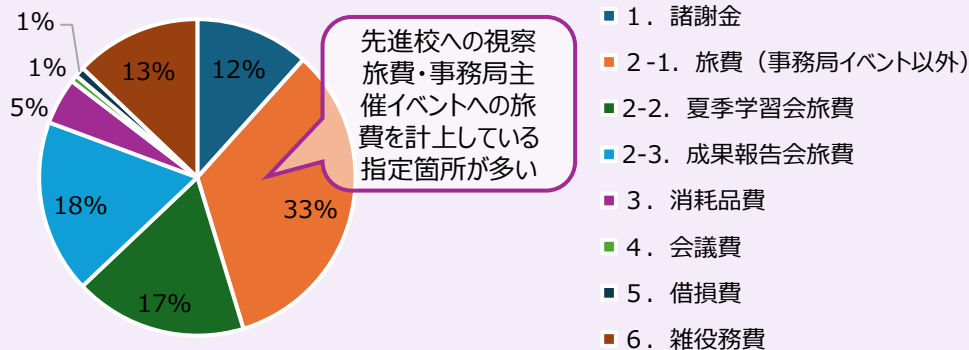
児童生徒分のタッチペン/タブレット端末の予備/  
その他児童生徒が活用するICT機器/Wi-Fiルータ/  
事業趣旨と関係のないハード・ソフトウェアの費用/  
1万円以上のコピー用紙/インク・トナー代 等



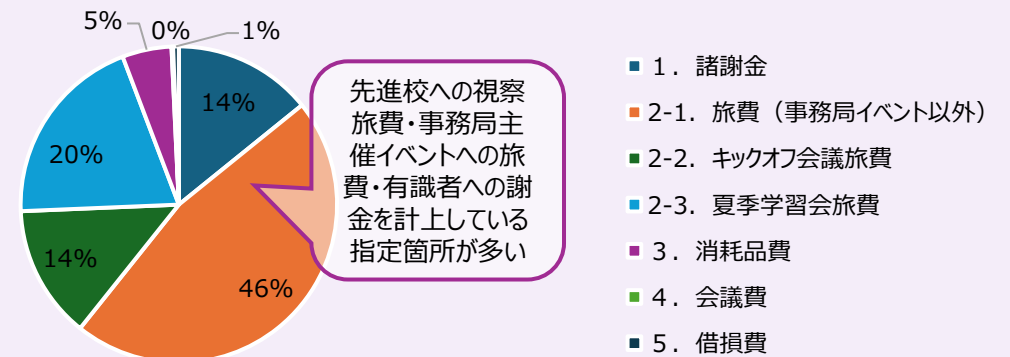
経費（計画時）の内訳  
(令和7年度AIパイロット校：教育利用)



経費（計画時）の内訳  
(令和7年度AIパイロット校：校務利用)



経費（計画時）の内訳  
(令和7年度リーディングDXスクール事業)

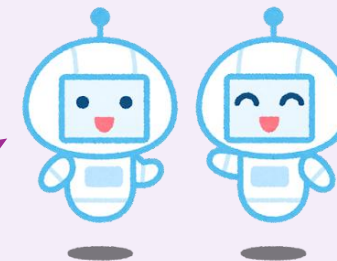


## よくある質問③ 経費の清算方法



どのように経費を  
支出したらよいの？

事業完了後の清算払いです。以下のようなスケジュールで事務局（内田洋行）から委託費としてお支払いします。（補助金にはあたりません）



	1月上旬	～2月26日 締切厳守		～3月上旬	3月20日 ※	4月15日 ※
自治体	中間報告 ↓	最終報告 ↓		請求書発行 ↓		受領 ↑
事務局	受領、調整	受領、調整	(整い次第) 委託額確定通知	受領	経費処理	支払い

☑**事業終了までは自治体で費用を立て替えていただく形となります**

中間報告：年内まで支出分について、決算書と支出を証明する書類（支払伝票等）を提出いただきます

最終報告：12月～2月までの支出分について追記の上、提出いただきます

調整：提出書類に不備等があった場合、調整させていただきます

支払い：採択後に提出いただく銀行振込口座に振り込みます。

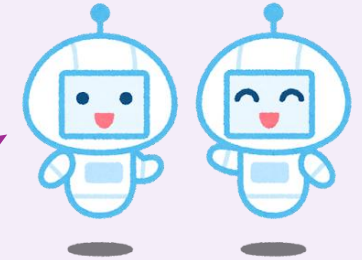
※2月26日までに額が確定していないものについては計上できませんのでご注意ください

# よくある質問④ 実践報告書



報告書の作成はどのくらい大変なの？

学校の負担を鑑みて、できる限り報告書の提出回数を減らしています。日ごろの取組は自校のホームページや公開授業等で広く展開してください。



## 【実施期間中の報告】

- ☑ 講師を招聘した構内研修会等を行う場合の、研修会・授業等の公開
- ※ 公開研修会や公開授業を行う際の周知には、事務局のサイトを活用いただけます！
- ※ 公開の範囲や頻度、方法（オンライン配信を含む）は、各指定箇所判断に拠ります

## 【事業終了時の報告（いずれもデータ提出は1月末頃を予定）】

### ☑ 実践報告書の提出

様式 I-2  
リーディングDXスクール事業【実践事例】 川崎市立南河原小学校（神奈川県）【指定校】

【取組内容】② 情報活用能力の育成

学習計画を立てるために、この単元を通して学びたいことは何か、何を考えるべきなのかを学級全体で確認する。

まとめやふりかえりはめあてに沿って行う。ふりかえりの形式として単元の見直しをもたせるか他者参照ができることを容易にするかは実施と単元によって検討する。

学習サイクル

- 課題の設定
  - 全体の課題
  - 個人のものである
  - 新たな課題
- 情報の収集
- 整理分析
- まとめ
- 振り返り

教師・見方・考え方に つながる声かけ  
児童・途中参照を大切に  
他者からの情報収集として途中参照を大切に、友達の意見から自分の考えを深めるようにする。

授業開始から20分後の姿

令和7年度生成AIパイロット校 実践報告書

学校名 千代田区立九段中等教育学校

学校種	学年	教科	単元名
中等教育 学校	後期課程6年 (高校3年)	地理歴史 (世界史探究)	帝国主義とナショナリズムの高揚 一生成AIを活用して「深み」のある問いを探索しようー

1.単元の概要

(1) 単元のねらい

- ・帝国主義とナショナリズムの高揚について、諸事象を構造的に理解することができる。（知識・技能）
- ・単元を貫く問いを自身で設定し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。（思考力・判断力・表現力等）
- ・生成AIを活用しながら、問いを主体的に探究することができる。（学びに向かう力、人間性等）

(2) 単元の指導計画

※【2.本時の概要とねらい】で記載する「本時」を設定してください  
※簡潔に記載したいので構いませんが、生成AIを活用した場面があれば記載ください※生成AIを活用した場面があれば記載ください

時	学習活動
1 (1 本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書と史料を読み、単元の概観を把握する。</li> <li>・生徒自身で単元を貫く問いを設定する。(問いの設定・推敲に生成AIを活用)</li> </ul>
2 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義とナショナリズムの高揚に関する諸事象について、講義や対話活動を通して構造的に理解する。</li> <li>・設定した問いについて、自身のタイミングで見直し、適宜修正を加える。(問いの推敲に生成AIを活用)</li> </ul>

- ※ 令和8年度の様式は事業開始後に事務局から改めてお知らせします。
- ※ 過年度は成果報告会でポスター展示を実施しましたが、令和8年度事業における実施の有無については現在検討中です。決まり次第早急に事務局からご連絡します。
- ※ **他で真似できないような特別な実践である必要はありません。**本事業は全国への普及展開を目指す事業ですので、他の学校でも真似できる、したくなるような実践の報告をお願いする予定です。

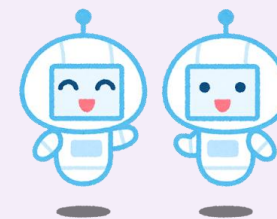
令和7年度の報告様式は【09\_参考資料】をご確認ください

## よくある質問⑤ 事業申請書 実施計画の内容



申請書の実施計画には何を書けばよいの？

事業趣旨を踏まえて、実践の創出・普及展開に向けて、どのようなことを行うのか、**具体的に書くのがポイントです！**



【過年度審査委員から多かった指摘】

- 課題や目指す姿はわかるが、取組内容が抽象的で、何をどのように行うのが**具体的に読み取れない**
- **小学校と中学校で全く同じ計画**になっている。指定箇所ですべて一体となって進めることはわかるが、学校によって抱える課題や目指す姿は少しずつ違うはず。**それぞれの実情に応じた具体的な計画を立ててほしい。**
- (B, C区分について) 有償ソフトウェアの利用や追加の環境整備が前提となっており、**全国に広く普及展開する事業趣旨と合致しない**

【その他 令和8年度事業の審査ポイント】

- **指定校や協力校を多く設け**、実践の普及展開が期待できる。
- (C区分について) 小中連携した情報活用能力育成を行うために、指定校が**同一校区内の小学校・中学校1校以上の組み合わせ**になっている
- 事業計画が**ガイドラインや教育情報セキュリティポリシーと合致しているまたはその予定**である。
- 書類の**記載に不備がない**。経費の根拠資料含め、**必要な書類がすべてそろっている**。

## その他よくある質問

Q. 採択後の計画変更は可能か。

A. 可能です。計画変更については、経費区分間の流用が15%を超える場合は事務局の承認が必要になりますのでご注意ください。

Q. 指定校は複数校でないと申請できないか。1校での申請は不可か。

A. 提出された申請書を受理しないということはありませんが、原則複数校での申請としておりますので、公募要領の条件を満たさない場合減点の対象となることご了承ください（自治体内に1校しか学校がない場合を除く）。なお、認定校は1校での申請も可能です。

Q. 県費職員の旅費等を市町村が支払うことになると思うが、どのようにしたらよいか。

A. 会計処理のルールは自治体に拠りますので、各自治体の会計等を担当する部門にお問い合わせください。（過年度の指定箇所におかれましても、それぞれのルールに従いご対応いただいております）

Q. キックオフ会議について、契約日前の別途事務局からの旅費支出があっても、自治体のルール上現地参加が難しい。

A. やむを得ない事情がある場合は、その旨所要経費シートの備考欄に記載ください。

Q. 事務局主催イベントについて「指定箇所・指定校から原則1名」はどのようにカウントするのか。

A. 仮に指定校2校で申請する場合、指定箇所（教育委員会）から1名、指定校2校から各1名の合計3名は原則現地参加というカウントになります。

Q. 視察先等について申請時点では決まっていないが、どのように費用を計上すればよいか。

A. 積算の根拠がわかれば構いませんので、備考欄に「関東方面を想定して積算」のように記載ください。

## その他よくある質問

Q. A区分の伴走者の紹介を事務局で行ってもらえるか。

A. 事務局では伴走者の紹介は行っておりません。ご了承ください。なお、指定箇所1箇所につき3回まで学校DX戦略アドバイザーの派遣が可能ですので、令和7年度のアドバイザー等も参照ください（令和7年度のアドバイザーが令和8年度もアドバイザーとして登録されるかについてはお答えできかねますのでご了承ください）。

<https://advisor.mext.go.jp/>

Q. 契約については文部科学省ではなく、株式会社内田洋行と締結することになるのか。

A. ご認識の通りです。

Q. 授業公開や研修公開等について実施回数や公開範囲に決まりはあるか。

A. 事務局として実施回数や公開範囲のルールは設けておりませんが、積極的な公開をお願いしております。実際には、本事業の趣旨と指定校等の実態を鑑み指定箇所にてご判断ください。

Q. 区分Bについて、「全国及び域内の格差を解消する観点から、都道府県及び政令指定都市ごとに最低1箇所の指定を行うことを目指す」とあるが、都道府県・政令指定都市から1箇所は必ず採択されるということか。

A. 選定は評価基準に基づき、審査委員会が行います。都道府県・政令指定都市から1件しか申請がない場合も、必ず採択されるとは限りませんのでご了承ください。

その他のお問い合わせは以下までご連絡ください。

**生成AIパイロット校事業事務局**

**コールセンター：0570-013-853（土日祝日を除く平日9:00～17:00）**

**E-mail：[AIpilot2026\\_jimukyoku@uchida.co.jp](mailto:AIpilot2026_jimukyoku@uchida.co.jp)**

※当該者のみが有利となるような質問等には回答できません